

JA全農えひめ情報

# あけぼの

2018

4 - May  
Apr. 5

■特集

JA全農・愛媛県本部「平成30年度事業計画」





▲伊予牛「絹の味」のすき焼きを楽しむ子どもたち



▲「生産者の思いや牛肉の栄養について知ろう」と題して食育講座を行いました

## 伊予牛「絹の味」黒ラベル 学校給食に登場！

J A全農えひめとえひめ愛フード推進機構は愛南町学校給食センターと連携し、1月24日、「愛」あるブランド産品の伊予牛「絹の味」黒ラベル（黒毛和牛4等級以上）を使用した学校給食を愛南町の小中学校など20施設、約1,600人に提供しました。この取り組みは、伊予牛「絹の味」黒ラベルの味を子どもたちにも知ってもらい、将来にわたって利用を促すことを目的に実施しました。



愛南町一本松小学校5年生のクラスでは、同地区に在住の県肉牛生産者協議会副会長、池田一成さんと同町学校給食センター栄養教諭の原田光香さんが食育講座を行いました。池田さんは、肉になるまでの過程や飼養管理で気を付けていることなどを講演し、「牛の命をいただくということにありがたうの気持ちを忘れないで」と子どもたちへ呼びかけました。講座終了後に、伊予牛「絹の味」を使用したすき焼きを食べた子どもたちは、「おいしい」「おかわりしたい」と笑顔を見せていました。

J A全農えひめ畜産部は「地元産の安全、安心して美味しい牛肉を子どもたちにたくさん食べてほしい。行政と連携しながら、今後も継続的に学校給食提供への協力をすすめていきたい」としています。

# めぐり〜ど

2018年4 - 5月号

## CONTENTS

### 全農グループの経営理念

私たち全農グループは、  
生産者と消費者を安心して結ぶ  
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

### 今月の表紙



おぼろ月夜に、満開の桜が薄桃色に浮かびあがる幻想的な春の宵。縁側で夜桜を愛でつつ、晩酌を。菜の花おひたし、たけのこ煮、春野菜たっぷりちらし寿司が運ばれてきましたよ。大きなイチゴや桜餅をほおぼって「おかあさん、まあだ?」。待ちきれない末っ子はお父さんのひざの上、猫は隣で、うとうと…。家族で楽しむ春らんまんの宴です。

●表紙：春の宵  
はら ふみ(イラストレーター)

※「めぐり〜ど」は、「愛媛農業 (Agriculture)」を「リード (Lead) する」という意味と「心を一にする (Agreed)」という意味を込めています。

農の風景Vol.203

## 伊予牛「絹の味」黒ラベル 学校給食に登場!

〈特集〉

JA全農・愛媛県本部「平成30年度事業計画」

〜より近く より深く より前へ〜  
「魅力増す農業・農村」の実現に向けて  
グループを挙げて実践します!

8 人事異動

9 全農愛媛県本部 2018年度機構図&ライン管理職等配置

10 THE・ねっとわーく

12 ふるさと ESSAY VOL.271

“好き”が叶えた奇跡  
〜いつか、どこかのリングで、会いましょう〜  
キューティエリーさん

14 TOPIC NEWS

18 なんでもBOX

19 統計BOX

20 READERS通信

NOW NOW COOKING

〈今月の素材〉 乾しいたけ

### JA全農えひめ

#### ホームページ

<http://www.eh.zennoh.or.jp>

■JA全農えひめ「えひめの食」企画  
<http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimemosyoku/>  
※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。

◆(株)えひめ飲料  
<http://www.ehime-inryo.co.jp>

◆JAえひめアイパックス(株)  
<http://www.iyokkora.jp/>

◆JAえひめ物流(株)  
<http://www.jat-ehime.co.jp/>

◆JAえひめフレッシュフーズ(株)  
<http://fresh-ranran.jp/>

◆(株)ひめライス  
<http://www.himerice.jp/>

◆JAえひめエネルギー(株)  
<http://www.ja-ehimeene.co.jp>

より近く より深く より前へ

# 「魅力増す農業・農村」の実現に向けて グループを挙げて実践します！

## JA全農 30年度計画

### 基本方向

#### 1. 情勢認識

JA全農は、農業所得の増大・農業生産の拡大・地域の活性化をすすめるため、「持続可能な農業生産・農業経営づくりへの貢献」、「海外事業の積極展開」、「元気な地域社会づくりへの支援」の3つの重点事業施策の実践に取り組んでいます。

さらに、29年度には「農林水産業・地域の活力創造プランに係る本会の対応」として、生産資材事業・農産物販売事業および輸出拡大に向けた具体策（以下、「年次計画」という）を策定し、JA・全農グループを挙

げて取り組みをすすめています。

（1）生産面では、肥料の新たな共同購入などによる物財費の削減や、生産性向上に資する技術の普及をすすめています。こうしたトータル生産コスト低減の取り組みは、全国のモデル55JAおよび大規模営農経営体等と共同で実践しています。さらに、地域ごとに生産の維持・拡大をめざす農畜産物を設定し地域生産振興に取り組んでいます。

（2）流通面では、米の広域集出荷施設および青果物の調整・加工施設など直販施設の新設をすすめています。また、海外営業拠点の設置など輸出拡大に向けた体制整備に取り組んでいます。

（3）販売面では、営業体制の拡充

による新たな需要の掘り起こしや、外食事業者への出資による安定的取引の拡大をすすめています。また、JAタウンなどeコマースによる消費者直接販売の拡大に取り組んでいます。

こうしたなか、30年産以降の米政策では米の直接支払交付金や行政による生産数量目標配分の廃止、また、卸売市場法の見直しがすすめられています。さらに、TPPや、日EU・EPAの発効に向けた動向など、引き続き農業を取り巻く国内・国際情勢を注視していく必要があります。

#### 2. 30年度計画の基本的な考え方

（1）今次3か年計画および自己改革の着実な実践

今次3か年計画の最終年度として、3つの重点事業施策の総仕上げに取り組みます。また、29年度に策定した「魅力増す農業・農村」の

表1 J A全農 平成30年度取扱計画 (単位：億円)

事業	年度	30年度 計画	29年度 計画	前年比
米穀農産事業		7,505	7,616	99%
園芸事業		11,879	11,813	101%
営農・生産資材事業		8,042	8,050	100%
畜産事業		10,229	10,567	97%
生活関連事業		8,257	7,884	105%
合計		45,912	45,929	100%

実現に向けたJ Aグループの取り組みと提案」で示した具体策、および「年次計画」について、深化・拡充し取り組みます。さらに、効率的な事業運営に向けて新たな道筋へのレールを敷き、組合員のために自己改革を着実に実践していきます。

ア・生産面では、肥料に加え農業機械・段ボール資材での共同購入の拡大やジェネリック農薬の開発、海外飼料原料の調達力強化などにより生産コストの引き下げをすすめます。また、ICTなど新技術の活用や、農業現場での農作業受委託など労働力支援への対応を強化します。

イ・販売面では、地域生産振興による実需者ニーズをふまえた業務用米や加工・業務用野菜の産地づくり、産地間のリレー出荷体制の構築をすすめます。また、営業体制の拡充、品目を横断した営業、および実需者・米卸業者への出資・業務提携などにより直接販売を拡大します。さらに、海外では新たな営業拠点を核として、相手国のニーズに応じた販売戦略により輸出事業を強化します。

ウ・地域社会づくりへの支援では、J A生活店舗の業態転換や総合宅配の拡大、およびライフラインS運営手法提案等をすすめます。

(2) 災害からの復旧・復興支援

地震や豪雨など農業生産に甚大な被害を与えた災害からの復旧・復興に向けて、行政や他団体と連携し、全農グループが一丸となり被災地のニーズに即した取り組みを実践します。

(3) 全農グループ全体としての取り組み

全農グループ全体の経営資源を有効に活用するとともに、戦略共有を強化し、子会社を含め実施具体策の実践に取り組みます。また、生産・流通・消費構造などの変化をふまえた効率的な事業運営・経営管理の検討をすすめます。

経営計画

取扱計画

取扱高は、J A全農自己改革の実践による飼料供給体制の合理化を目的とした北海道における飼料事業の移管により減少するものの、青果・石油の単価高騰を見込み、29年度計画並みの4兆5,912億円とします。

収支計画

取扱高の減少などにより、事業総利益は29年度計画から61億円減少とします。一方、事業管理費の削減や、その他経常損益の改善などにより、

当期剰余金は34億円とします。

剰余金処分計画

剰余金処分は、利益準備金6億円、出資配当金23億円(2%)、任意積立金22億円を計画します。

財務計画

(1) 自己資本計画

準備金・積立金は、事業開発積立金、情報システム開発積立金、農薬開発積立金の取崩しによる減少17億円、および利益準備金6億円、任意積立金22億円の増加を計画します。また、繰越剰余金23億円を計画します。

(2) 施設等取得・処分計画

販売力強化に向けた米穀農産関連の広域集出荷施設や、生産振興に向けた園芸関連の実証施設および畜産関連の肉用牛繁殖施設などの取得を計画し、264億円とします。

(3) 外部出資計画

米穀の安定的な販売先確保のための外部出資などを計画し、33億円とします。

要員計画

事業環境に対応した要員体制とする観点に加え、改正労働契約法への対応を勘案し、31年3月末の職員数は8,400名程度とします。

愛媛県本部 平成30年度事業計画

最重点施策

愛媛県本部では、今次3か年計画の最終年度として、3つの重点事業施策を基本に、第36回JA愛媛県大会で決議された「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」への挑戦、「地域の活性化」への貢献に向けて、「農業者所得増大チャレンジ事業」の総仕上げに取り組みます。

さらに、「魅力増す農業・農村」の実現に向けたJAグループの取り組みと提案」で示した具体策について、これまでの進捗状況をふまえた補強・追加・見直しをおこない、自己改革の着実な実践に取り組みます。

耕種事業

(営農食糧部・園芸部・生産資材部)

JAグループ自己改革の最重点実施分野である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」をめざし、販売品取扱高の拡大を共通目標に掲げるなか、JA・関係事業部門の連携強化による「農業者所得増大チャレンジ事業」を展開します。

特に重点事項として「マーケットイン(実需者ニーズ)にもとづく生

産・販売事業方式の転換」「トータルコストの低減」多様な農業者ニーズへの対応」の具現化に向け、JA・農業者への支援対策や県域機能の強化によるJA事業の補完・支援に取り組み、農家手取り最大化ならびに愛媛農業の振興をすすめていきます。

畜産事業

生産基盤の維持・強化をはかるため、新技術普及による生産性向上対策や休閑施設の再整備等をすすめる肉牛・肉豚生産者の所得向上に取り組みます。

また、系統ブランドの安定生産と品質向上にとめるとともに、大手量販店・料飲店とのマッチング販売推進や直営店舗運営による消費者への直接訴求、地産地消に取り組みます。

生活事業

「地域の活性化」へ貢献するため、地域実態・組合員ニーズに対応した事業・品目の取扱い強化をはかり、くらし支援事業の提案と実践にとめまます。

また、県内産を中心とした国産農畜産物の消費拡大をはかるため、地産地消の取り組みとネットシステム

を活用した宅配事業や直販事業の拡大にとめ、くらしの安全・安心と健康への貢献に取り組みます。

また、環境関連事業や石油・ガス等エネルギーの効率的供給に取り組み、快適で環境にやさしい生活と、高齢者対応事業の研究に取り組み、豊かで暮らしやすい地域社会の実現に貢献します。

グループ会社

JAグループの会社として生産者・JA・消費者の期待に応えるよう、生産・加工・販売・購買・物流の各分野においてグループでの事業機能の向上をめざします。

また、愛媛県本部グループ会社全体の健全経営を確立し、愛媛農業の振興支援に取り組みます。

事業別実施具体策

営農食糧部

① 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けて、「農業者所得増大チャレンジ事業」の推進事務局として部門間連携の更なる強化を図ります。また、JATAC(担い手)に出向く担当者)活動のステップアップ支援を行うとともに県域TACによる担い手への提案活動を積極的に進めます。

② 「県域担い手サポートセンター」の連携強化による新規就農者の確

保・育成支援、労働力支援に向けた取り組みを進め、愛媛県内における生産基盤の維持・拡大に努めます。

③ 関係機関と連携し県産農畜産物の付加価値増大・消費拡大に取り組みとともに農業生産工程管理の意識向上を図るため「GAPをすすめる」ことを普及します。

④ 水田面積の維持と県内需要に応じた主食用米および主食用以外の水田活用米穀、裏作・転作品目の作付けによる「水田フル活用」の推進をはかるとともに、生産資材部門との連携による省力栽培技術推進および収量・品質向上対策に取り組みトータルコストダウンをはかります。

⑤ (株)ひめライスとの連携を強化し、県域生販一貫体制にもとづく「ひめライス」ブランドの拡販と定着をはかるため、買取販売の強化と大口生産者へのフレコン集荷提案やTACとの同行推進により、県内需要に応える集荷量の確保に取り組みます。

⑥ 中食・外食用向けの業務用需要に対応するため、多収性・良食味が確認された「あきだわら」を中心に普及・拡大に取り組みます。また、「特A」評価を取得した実績のある「ヒノヒカリ」に「こまる」を中心に連続取得を目指し「売れ

る米づくり」に取り組みます。

① 自然災害や異常気象に左右されない生産量の安定維持をはかるため、基本栽培技術の励行を指導徹底します。特に、温州みかんは正品率・反収の向上対策、キウイは病害対策徹底等により生産基盤強化に取り組みます。また、県オリジナル品種は愛媛独自の高品質・優良品種の産地拡大を積極的に進め、品質・品格統一によるブランド確立を推進します。マーケットインにもとづく産地づくりと販売力強化に取り組みます。

② J・A・パートナー市場と連携し、実需者を明確にした予約相対取引を推進するとともに、県行政と連携した輸出事業の展開や、企画販売推進による買取販売の強化・拡大に取り組みます。国産青果物の消費拡大に向けた消費者への提案力を強化します。

③ 果実の消費拡大・購入促進をはかるため、卸売市場との連携による企画型販促等の店頭試食宣伝販売の充実、「オレンジロード」による果実の情報発信により消費者に効果的なPRに取り組みます。

④ 野菜の生産基盤強化に向けてJ・A愛媛野菜生産者組織協議会と連携し、重点8品目においてドリムプランの実践により産地振興に

取り組みます。

⑤ 「愛媛チーム」としてマーケットインに対応した商品の企画提案と契約・買取販売や、広域選果による販売・流通コストの効率化・低コスト化の提案に取り組みます。

⑥ 愛媛野菜のファンづくりに向け、販売継続店による生産者参加型対面販売等の消費拡大対策と、マスコミを活用した情報発信や消費者へのPR活動に取り組みます。

⑦ 直販事業については、実需者ニーズに応じた各取引先へのギフト企画の拡充と、県内外の量販店等に対して地元仲卸との連携による県内産の青果物販売継続を図ります。

⑧ 業務需要に対応した加工仕向の拡大やリパック機能を活用した付加価値の高い商品提案により多角的な販売力強化に取り組みます。

#### 畜産部

① 事業競争力強化のため、J・Aえひめアイパックス(株)・J・A西日本くみあい飼料(株)との連携をはかり、肉牛では肉用牛センターを核としたCBS事業(キャトルブリーディングステーション)の展開により、ブランド牛生産基盤の拡大をすすめるとともに、和牛素

牛の増頭に取り組みます。

また、肉豚では多産系ハイコープ種豚の安定供給をはかり、多産に対応した飼養管理技術の普及確立と生産性向上対策に取り組みます。

② 生産基盤の維持・強化をはかるため、畜舎の増改築や規模拡大および休閑施設の利活用対策など、畜産クラスター事業や行政対応の支援をすすめ、多様なニーズへスピード感をもって取り組みます。

③ 肉豚185、000頭、肉牛2、850頭の取り扱いを目標に、系統ブランドの安定生産と品質向上につとめ、JA全農ミートフーズ(株)と連携した販売に取り組み、また大手量販店や料飲店とのマッチング販売推進に取り組みます。

④ 系統ブランド伊予牛「絹の味」、「ふれ愛・媛ポーク」の認知度向上と消費拡大に向け、生産者・JA・販売先・行政と連携し、消費宣伝活動に取り組みます。また直营店舗運営による消費者への直接訴求、地産地消の啓蒙活動に取り組みます。

### 生産資材部

① 物財費の削減、労働費の低減、生産性の向上によるトータルコスト低減に取り組み、低コスト・省力化に繋がる肥料農薬・農機・施設園芸資材・包装資材の開発・普

及につとめ、農業者の所得増大をめざします。

② 肥料農薬事業においては、「土壤診断や的確な施肥防除技術にもとづく企画提案」、「肥料の銘柄集約と共同購入・肥料満車直送・担い手直送規格の拡充による価格引下げ」、「市場価格調査を踏まえた対応品提案や弾力的な価格設定」に取り組みます。

③ JAグループにおける肥料農薬の低コスト供給体制を構築するため、中四国農薬広域物流センター構想を基にした新たなJA物流体制の整備に向け、JAの配送拠点集約の取り組みと連携を図ります。

④ 園芸資材事業においては、ハウス被覆資材の予約推進と低コスト資材の供給、および省力化技術の普及につとめ、施設園芸の振興をめざします。

⑤ 農機事業においては、事業管理体制の強化や人材育成に努め、将来にわたり継続可能な体制づくりを進めます。また、重点型式の定着、格納点検の拡大、低価格モデル農機の普及、中古農機の流通促進など低コスト低減へ向けた取り組みを行います。

⑥ 段ボール事業においては、「全農唯一の直営工場」としての優位性を最大限発揮するとともに、顧客満足度のさらなる向上と品質管

理体制の強化による高品質段階ホルの安定供給に努めて参ります。また、多様化する包装ニーズに対し、省力化・低コスト化に向けた付加価値商材の開発と、流通現場における最適なパッケージングの提案活動に積極的に取り組みます。

### 生活部

① 新たなJA生活事業の実践運動を通じ、「県域くらしの支援マスタープラン」の整備と展開による地域・組合員ニーズに即したJA生活事業の活性化をすすめ、ライフライン店舗の業態転換・業務提携によりJA生活店舗の買い物支援促進・収支改善につとめます。

② 県内産農畜産物消費拡大運動に積極的に取り組み、地域農業の振興に寄与するとともに、国産農畜産物を主原料とした「エコーコープマーク品」や「全農ブランド商品」の取扱い拡大をはかり、国産農畜産物の安全・安心を消費者にお届けします。

③ ネット販売・通販チャネルの活用により、事業領域を拡大したダイレクトマーケティング事業の取り組み強化につとめます。

④ 葬祭協議会活動を通じ、葬祭関連用品の取扱い拡大と葬祭事業の運営改善・施行レベル向上に取り組み、JA葬祭事業の体制強化をはかります。

表2 愛媛県本部 30年度取扱高（総供給販売高）計画

(単位：億円)

事業	年度	30年度 計画	29年度 計画	前年比
営農食糧事業		35	33	105%
園芸事業		421	423	100%
畜産事業		201	209	96%
生産資材事業		124	126	98%
生活関連事業		139	140	99%
合計		920	932	99%

表3 グループ会社 30年度売上高計画

(単位：百万円)

会社名	30年度 計画	29年度 計画	前年比
(株)えひめ飲料	20,022	24,123	83%
J A えひめアイパックス(株)	4,109	4,081	101%
J A えひめフレッシュフーズ(株)	3,509	3,423	103%
(株)えひめライス	4,535	4,087	111%
J A えひめエネルギー(株)	2,720	2,638	103%
(株)えひめフーズ	669	645	104%
J A えひめ物流(株)	6,652	6,951	96%
合計	42,216	45,948	92%

⑤ 県内産農畜産物販売拠点として、直売所とコンビニとの一体型店舗運営に取り組み、新たな事業モデルの構築による地産地消ならびに地域消費者の利便性向上につとめます。

⑥ 施設農任事業においては、施工代行方式による事業強化と拡充に取り組みます。施設事業は関係部署との連携をはかり、既存施設への診断・提案活動の強化や「総合コンサル」による施設導入支援に

① **管理部** コンプライアンスやリスク未然防止意識の更なる浸透・定着を図るとともに、法務・コンプライアンス担当者の知識の拡充および重点管理すべきリスクの未然防止に取り組み、コンプライアンス・リスク管理態勢を強化します。

② 事業部との事業検討会等を通じて、収支管理・投資管理・要員管理を強化し、事業計画の達成に取り組みます。あわせて、全農自己改革の着実な実践に向けた管理・支援に取り組みます。また、グループ会社管理を継続し、健全経営の確立に向けた指導・支援に取り組みます。

③ J A 意見交換会やJ A 巡回等を通じて、会員の意思を事業運営に取り入れ、満足度向上をはかります。

④ 各事業部門における事業施策の実現に向け、営業力・企画力向上のための人材育成と要員の適正配置をはかります。

⑤ J A ・組合員に対し県本部グループ事業への理解向上と、広く消費者に対し県産農畜産物の消費拡大に向けた情報提供活動を展開

します。

### 経営計画

#### 取扱高計画

高齢化等による生産基盤の弱体化、生産資材価格の引き下げ等の影響があるものの、「農業者所得増大チャレンジ事業」の継続的展開、産地育成の取り組みや多元的販売の体制強化をはかることにより、取扱高（総供給販売高）は920億円とします。

#### 収支計画

厳しい事業環境の中、取扱高（総供給販売高）の減少等による事業収益の減少により事業総利益は29年度計画から60百万円減少しますが、事業管理費の精査・削減、事業外損益の改善等により、30年度の当期利益は75百万円とします。

#### 投資計画

生産基盤維持を目的とした事業施設・農作業支援法人等に対する設備投資および出資、事業所の設備更新や施設老朽化対策、消費電力削減のための設備投資、情報システム開発を計画します。

#### 要員計画

事業環境に対応した適正な要員体制をはかることとし、会内要員は30年度期首で187名とします。

人事異動（平成30年4月1日付）※課長・審査役以上

氏名	新任部署	旧任部署
竹村 靖	(審議) 副本部長 管理・畜産・生活担当	(審議) 副本部長 管理・グループ会社・生活担当
関岡 光昭	(審議) 副本部長 営農食糧・園芸・生産資材担当	(審議) 副本部長 営農食糧・園芸・畜産・生産資材担当
中矢 琢	(監) 管理部長	(監) 株式会社えひめ飲料 出向
武田 孝二	(監) 園芸部長	(審) 果実課長 開発センター所長 事務取扱
堀岡 茂	(監) 園芸部 広域事業基盤整備 専任部長	(審) 野菜花卉課長 菌床センター所長 事務取扱
塩崎 洋章	(監) 生産資材部長	(審) 事業開発課長
澤田 浩二	(審) 管理部次長 (グループ会社担当) コンプライアンス推進課長 事務取扱	(審) コンプライアンス推進課長
矢野 貴之	(審) 生産資材部次長 段ボール工場長	(審) 段ボール工場長 段ボール工場製造課長 兼務 本所 耕種対策部 営農・技術センター 生産資材研究室 段ボール愛媛分室室長 兼務
中山 祐二	(審) 企画課長	(審) 農機課長
越智 和弘	(審) 総務課長	(審) 企画課長
田中 基司	(審) 営農支援課長 担い手サポートセンター長 事務取扱	(副審) 肥料農薬課 (課長事故代行者)
斉藤 正幸	営農支援課 担い手対策専任課長	愛媛県 (受入出向)
本田 庄三	(審) 果実課長	(副審) 果実課 (課長事故代行者)
波岡 幹人	(審) 野菜花卉課長 菌床センター所長 事務取扱	(副審) 野菜花卉課 (課長事故代行者)
石丸 保博	(審) 畜産販売課長	(審) 畜産振興対策課長
高垣 博之	(審) 農機課長	(副審) 農機課 (課長事故代行者)
下村 成人	(審) 段ボール工場製造課長 本所 耕種対策部 営農・技術センター 生産資材研究室 段ボール愛媛分室室長 兼務	(副審) 段ボール工場製造課 (課長事故代行者)
高井 雄二	(監) 本所 グループ会社統括部 グループ会社監査課	(監) 管理部長
崎山 一誠	(監) 本所 燃料部 四国石油事業所長	(審) 本所 燃料部 四国石油事業所 愛媛推進課 松山東SS所長 事務取扱
大家 宏之	(審) 本所 燃料部 四国石油事業所 愛媛推進課 松山東SS所長 事務取扱	(副審) 総務課 (課長事故代行者)
石川 忠司	(監) 株式会社えひめ飲料 出向	(監) 生産資材部長
森田 久敏	(審) J A えひめフレッシュフーズ株式会社 出向	(審) 総務課長
平岡 正行	(審) 愛媛県園芸振興基金協会 出向	(審) 営農支援課長 担い手サポートセンター長 事務取扱

【表の見方】 職能資格呼称等は略称表記しています。

(参事) = 参事役、(審議) = 審議役、(監) = 監理役、(審) = 審査役、(副審) = 副審査役



# THE

# ねとわーく

## 「愛媛いよかん大使が消費宣伝キャンペーンを実施」

### 果実課

J A全農えひめ果実課は、全国生産量の9割を占める愛媛いよかんの本格販売にあたり、今年も愛媛いよかん大使による消費宣伝キャンペーン

を実施しました。キャンペーンのスタートにあたり、1月31日には、J A全農えひめの菅野幸雄運営委員会会長と愛媛いよかん大使4人が愛媛県の上甲俊史副知事を表敬訪問しました。

愛媛いよかん大使4人は、消費宣伝キャンペーンにあたって、「色よし、味よし、香りよし」三拍子そろった美味しい愛媛のいよかんを一人でも多くの方に召し上がっていただけるようPRしてきます」と決意表明。上甲副知事に愛媛いよかんを贈呈しました。試食した上甲副知事は、「甘くて美味しい。いよかんの香りは格別ですね」と絶賛されました。キャンペーンは毎年行っており今年が42回目。大使らは、1月20日〜21日の「第40回えひめみかん祭り」で活動した後、2月2日から2月10日までのべ9日間、札幌・東京・大阪・神戸・名古屋の5都市を回り、

市役所・市場への表敬訪問、店舗でのPR販促活動、さっぽろ雪まつり会場でのいよかん無料配布などの消費宣伝活動を行い、質・量とも日本一の愛媛いよかんをアピールしました。なお、県内J Aの伊予柑出荷計画量（2月20日時点）は、約1万8,352t（前年比96%・前々年比81%）。J A全農えひめ果実課は、高品質果実の厳選出荷・計画出荷の徹底、独自の果実需給調整対策とともに、2月上・中旬の出荷ピークにあわせてSP（セールスプロモーション）レデイによる店頭試食宣伝販売活動を積極的に実施しました。



▲上甲副知事（左）、菅野会長（右）と愛媛いよかん大使



▲さっぽろ雪まつり会場で愛媛いよかんの旬到来をアピール



▲東京大田市場をはじめ、各地の市場や仲卸を訪れ、愛媛いよかんの拡販協力を訴えました



▲試食販売や無料配布を実施しました

(単位：円)

品名	規格	推進価格 (税抜)	消費税	税込価格
えひめ100みかんいよかん混合 (ペットボトル)	ケース (1ℓ×8本)	2,194	176	2,370
えひめ100つぶみかんいよかん混合 (ペットボトル)	ケース (1ℓ×8本)	3,065	245	3,310
愛媛の味わい柑橘100 (ペットボトル)	ケース (1ℓ×6本)	2,157	173	2,330
えひめの柑橘と国産にんじん (ペットボトル)	ケース (1ℓ×8本)	2,537	203	2,740
愛媛の清見 (ペットボトル)	ケース (1ℓ×8本)	2,157	173	2,330
愛媛の特煎茶 (ペットボトル)	ケース (500ml×24本)	2,537	203	2,740

# 「えひめみかん・いよかんジュース・お茶等消費拡大・愛用運動を展開！」

## 生活 資材課

J Aグループ愛媛は、今年も4月1日から、『えひめみかん・いよかんジュース・お

茶等愛用運動』(J Aグループ愛媛農畜産物消費拡大推進本部・県内各J A・J A愛媛中央会・J A全農え

ひめ主催)を実施しています。

この運動は、県内産主要農畜産物の消費拡大により、地域農業の振興とともに、良質で安全な県産品の愛用を進め県民の健康増進をめざす「愛媛県産農畜産物加工品消費拡大運動方針」を受けて毎年取り組んでいるものです。

ジュースの愛用運動は8月末まで、お茶は12月末までの期間限定となっております。今年度は計33万ケースを目標に取り組みますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 【商品特徴】

- ① えひめ100みかんいよかん混合  
愛媛産の温州みかんといよかんを主体にブレンドした濃い果汁感が楽しめる果汁100%ジュースです。
- ② えひめ100つぶみかんいよかん混合  
愛媛産の温州みかんといよかんを主体とした果汁にみかんの果粒(つぶつぶ)を加えた果実分100%の粒入りジュースです。

- ③ 愛媛の味わい柑橘100  
愛媛産のポンカンといよかんを主体に愛媛の柑橘をブレンドした深みのある爽やかな味わいの果汁100%ジュースです。

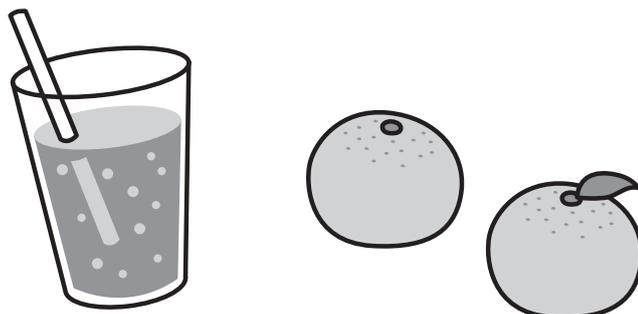
- ④ えひめの柑橘と国産にんじん  
愛媛産の柑橘と国産人参の甘さが生きた果実・野菜のミックスジュースです。

- ⑤ 愛媛の清見  
愛媛産の清見を使用した、甘味と酸味のバランスが絶妙な果汁30%飲料です。

- ⑥ 愛媛の特煎茶  
愛媛県産茶葉を100%使用し、心地よい苦味とさっぱりした後味の緑茶です。食後やスポーツの後、焼酎等の緑茶割りとしてご利用いただけます。500mlペットボトル。

いずれの商品も、例年と同様に数量限定で取り扱っています。運動期間中でも品切れの際には販売を終了しますので、早めのご注文をお願いします。

毎年県産品として県内外への贈答品として大変好評であり、今年も贈答需要に対応できるよう宅配も受け付けています。詳しくは最寄りのJ Aにお問い合わせください。





## 好きが叶えた奇跡 いつか、どのかのリングで、会いましょう

《四国初のご当地プロレス団体旗揚げ！》

Yahoo!ニュースに文字が躍るも、旗揚げ当初、団員は6名。県内の相撲道場を借りてプロレスの練習を始めた。全員、プロレス未経験。代表の私も、プロレスはおろか格闘技すら無縁。成功する展望などあるはずもなく、不安を抱える私を動かしたのは、団員たちのプロレスへの想いだった。

プロレスラーは、興行日、試合だけを行うイメージはないだろうか？ 現実は、リングの運搬や設営および撤収、グッズの販売まで、団員自ら行う団体が多い。総重量1tのリングを人力で解体する作業は、体力自慢でも疲労困憊。社会人プロレス団体の多くで、基本的に選手はノーギャラ。愛媛プロレスはプロアマ混合のご当地団体なので、プロ団体に参戦する選手にはギャランティを頂戴しているが、その額は

決して高いとは言えない。命がけで観客を沸かせるレスラーを動かしているのは、お金ではない。

プロレスというジャンルに関わり、私が一番感動したのは、プロレスを愛する団員の想い、その熱量だった。「プロレスラーになるのが夢だった」と語る団員は多い。自分を変えたかった。強さに憧れがあった。人を楽しませたい。理由は様々だが、皆一様に、自分の中の「好き」「夢」「楽しさ」に動かされている。楽しさは、伝染する。責任感から活動を始めた私だったけれど、団員たちと過ごす時間を心待ちにするようになった。

愛媛プロレスは、プロレスを通じて愛媛を盛り上げるべく、選手スタッフの想いとリングをトラックに載せて、旗揚げから、実に様々な場所へ出向いた。鬼北町、八幡浜市新町商店街、宇和島市菰刈の漁村。今治市の温泉、西

# キューティエリー

ELLY CUTIE

### ■プロフィール■

四国初のご当地プロレス団体「愛媛プロレス」代表。松山市出身、本名・年齢・非公開。全国でも珍しい女性代表ながら、プロレス団体運営を通じて地域活性に尽力し、時にディーバとして試合にも参加し、リングで試合を盛り上げる。キャッチコピーは「愛媛産には愛がある。愛がいっぱいキューティエリー」、得意技ハイキック、必殺技はラ・マヒストラル（体固め）。地域創生やPRについての講演を行う傍ら、ジェンダー平等と女性のエンパワーメントのための活動も行っている。

●「愛媛プロレス」ホームページアドレス  
<http://www.ehime-pro.com/>



▲愛嬌&度胸で愛媛プロレスを引っ張るキューティエリーさん。彼女の登場を心待ちにするファンも多い

条市の駐車場、石鎚サービスエリア、四国中央市の大型スーパーマーケット、松山市の堀之内公園、道後の旅館、市内のホテル、銀天街・大街道。興行の先々で、団員顔負けの熱量でプロレスを愛する気持ちを語って下さる方々との出会いがあった。

プロレスの魅力とは何だろう。超人的な肉体のレスラー達が繰り広げる、非日常のドラマ。老若男女が楽しめる

スポーツエンターテイメント。プロレスを応援するファンが選手へかける声は、自分自身への声。そんなことを耳にしたことがある。やられてもやられても屈しないレスラーへの「頑張れ」「負けるな」。今では私も、この不思議な魅力をもつエンターテイメントに魅了されている。

知識も経験もない愛媛人が不思議な縁で集まり産声をあげた愛媛プロレス



▲昨年12月の愛媛プロレス・ビッグマッチ「Winter Dynamite〜王者威風〜」。汗と涙と笑顔と感動で一体化した場内

は、今では全国各地に愛媛県ご当地レスラーを呼んで頂けるまでに成長し、団員も28名に上る。そして先日、愛媛プロレスの選手が格闘技の聖地、東京・後樂園ホールリングに上がった。ご当地レスラーとしては異例、プロ団体に定期参戦も決定した。愛媛プロレスのリングには、夢がある。

つい最近、ある経営者の先輩から素敵な言葉を教わった。

『人生はMUST(しなければいけない)の連続ではない。WANT(したい)の連続だ』。

自分の「WANT」に動かされて、ひたむきに夢を追う姿を、この街は応援してくれるあたたかさで溢れている。

## ●第40回えひめみかん祭り

### 県内各地の柑橘30種類以上を一堂に集め愛媛産柑橘の魅力をPR！

愛媛県果樹同志会、愛媛県、JA全農えひめなどは、1月20日と21日の2日間、松山市のいよてつ高島屋8階特設会場で、『第40回えひめみかん祭り』を開きました。みかん祭りは、柑橘の品種30種類以上を展示・販売する「柑橘王国愛媛」ならではのイベントで、愛媛産柑橘のPR・消費拡大と果樹農業の振興を図ろうと毎年開催しています。

会場では、「こころつないで40年 あふれる感謝をみかんにこめて♡」をテーマに、「果実コンクール」出品柑橘22品種204点の展示販売、同志会員らが説明を交えて、伊予柑・ポンカン・せとか、甘平、紅まどんなや日頃目にすることの少ない品種や加工品の試食販売を実施。来場者は品種の食べ比べを楽しんで、好みの柑橘を購入していました。

新品種の紹介、「ほ場コンクール」優秀園地

のパネル展示、ポンジュース蛇口、みかん風味ポップコーンの配布のほか、ステージ上では「愛のオレンジロード」の紹介、みかん早むき大会やみかんを丸ごと使った「みかん餅つき」などを実施。愛媛柑橘の美味しさと魅力をPRしました。



多くの来場者が詰めかけ大盛況でした

## ●第40回「えひめみかん祭り果実・ほ場コンクール」

### 大臣賞に青木 聡さん（果実）と濱田 富幸さん（ほ場）

愛媛産柑橘の品質向上と果樹農家の生産意欲の高揚に向けて「第40回えひめみかん祭り」果実・ほ場コンクールの結果が、1月20日、「えひめみかん祭り」会場で発表され、農林水産大臣賞（優秀賞）には果実コンクールが青木聡さん（JAえひめ中央）の「せとか」、ほ場コンクールでは濱田富幸さん（JAえひめ中央）のせとか（施設）の園地が選ばれました。

コンクール入賞者は次の皆さん（敬称略・カッコ内は品種名・JA名）。表彰式は、3月23日開催の愛媛県果樹同志会大会で行われます。

#### 【果実コンクール】

▽優等賞＝西山信（甘平・えひめ中央）、二宮喜信（南柑20号・えひめ南）、一色悟（宮内伊予柑・えひめ中央）、白濁泰（甘平・同）、重松敬太（愛媛果試第28号・同）、渡部憲明（はれひめ・おちいまばり）、根来六夫（今津ポンカン・にしうわ）、佐々木章人（不知火・同）▽優良賞＝大野陽一（宮内伊予柑・えひめ中央）、景浦雅史（愛媛中生・おちいまばり）、木下武英（太田ポンカン・えひめ南）、忽那敬一（甘平・えひめ中央）、門屋吉輝（宮内伊予柑・同）、八木京（はるみ・同）、赤松正月（南柑20号・えひめ南）、野本政彦（愛媛果試第28号・えひめ中央）、政岡俊一（せとか・同）、玉井大介（宮内伊予柑・同）、大野定志（不知火・同）、竹村孝（石地温

州・同）、浜西貴陽（太田ポンカン・にしうわ）、池内良雄（甘平・えひめ中央）、谷本宏明（南柑20号・えひめ南）、菊池登志彦（太田ポンカン・にしうわ）、野本潤也（宮内伊予柑・えひめ中央）、重松迪子（不知火・同）、重野匡宏（宮内伊予柑・同）、増田章（河内晩柑・えひめ南）、福田正昭（レモン・おちいまばり）、宮内一郎（天草・えひめ中央）

#### 【ほ場コンクール】

▽優等賞＝玉井啓介（愛媛果試第28号〈施設〉・えひめ中央）、福田慎一（せとか・同）▽優良賞＝渡部憲明（甘平・おちいまばり）、国貞祐二（甘平・同）



農林水産大臣賞を受賞した青木さんの「せとか」

## ● J A青壮年組織代表者と J A全農えひめとの意見交換会 農業者の所得増大の取り組みを中心に意見交換

J A全農えひめは、2月14日、松山市の J A愛媛で、 J A愛媛青壮年連盟と意見交換を行いました。

J A愛媛青壮年連盟の岡崎晃裕委員長をはじめ執行部や J A青壮年組織代表、 J A事務局、 J A全農えひめからは小越慎介県本部長をはじめ関係部長など計32人が出席。多様な担い手の支援拡充を求める意見がありました。

岡崎委員長は、「意見交換を通じて農業者の意見・要望を受け止めていただき、一緒になって愛媛農業の振興に取り組んでいきたい」、小越県本部長は、『『農業者所得増大チャレンジ事業』で所得増大と愛媛農業の振興に取り組んでおり、生産者の皆さんとともに生産基盤の強化に向けて取り組んでいきたい』とあいさつしました。

J A全農えひめから、農業者の所得増大に関する取り組みを紹介するとともに、事業別に平成30年度事業計画（案）について説明。青壮年

組織代表からは、「若手の担い手や大規模農家だけではなく、小規模・高齢農家の励みになるような支援もしてほしい」「全国に愛媛産のアピールを。国内にもっと売り先をつくってほしい」「1円でも高く買い取って売ってほしい」といった意見・要望が出されました。

J A全農えひめは「農家の意見を集約し、 J Aや青壮年連盟と一緒に進めたい」と、今後の方向を交えて回答しました。



## ●平成29年度TAC研修会 営農計画策定支援ソフトの活用を

J A全農えひめ営農支援課は、TAC活動の充実・ステップアップに向けて、1月25日、松山市の J A愛媛で「平成29年度TAC研修会」を開きました。

TACは、「とことん会ってコミュニケーション」を合言葉に、地域農業の担い手に出向く J A担当者の愛称です。 J AのTACなど14人が参加した今回の研修会では、営農計画策定支援システム「新Z-BFM」の操作演習を実施したほか、事業継承の必要性について紹介しました。

「新Z-BFM」とは、経営概況や労働条件を入力し、作付したい品目の経営指標を選択すると農業所得が最大となる営農計画案を作成できる Excelを活用したソフトです。生産者にとって、

最適な営農計画の作成を支援するために役立てられます。

参加者からは、「担い手の経営分析や計画策定時にぜひ使ってみよう」との声がありました。



## ●「えひめ米品質向上推進大会」

### 業務用米需要に応えるため多収穫米「あきだわら」を本格的栽培!!

愛媛県米麦振興協会とJA愛媛米麦生産者組織協議会などは、3月7日、「えひめ米品質向上推進大会」を伊予市で、開催しました。

大会は、愛媛県の水田農業の振興を図ろうと毎年開催しており、JAや生産者・行政などから関係者約120人が出席しました。

大会では、平成30年産から新たな米政策がスタートすることから、「愛媛県における米政策の変更点」や「平成30年産米作付計画の基本的考え方」を示すとともに、県内で要望される必要数量を確保し、需要に応じた品種別作付けを進めていくことを確認。さらに全国的に中食や外食が増えている現状の中、不足している業務用米需要に対応するため、県内では多収穫米「あきだわら」を30年産より本格的に栽培していきます。そのため、「あきだわら」の多収達成に向けた栽培技術についての記念講演も行われました。

また、「平成29年度愛媛県良質米・麦作・大豆共励会」表彰式などが行われ、良質米共励会では、最優秀賞（愛媛県知事賞）の今井啓一さん（「農家の部ヒノヒカリ・にこまる部門」・JA周桑）を表彰。麦作共励会では、農家の部で岡田義久さん（JA周桑）、集団の部で農事組合法人本郷生産組合（平塚道昭代表・JA周桑）が最優秀賞を受賞しました。

岡田さんは29年度の全国麦作共励会で全国農業協同組合中央会会長賞、農事組合法人本郷生産組合は全国米麦改良協会会長賞を受賞しています。

その他の受賞者は次の皆さん（敬称略・カッコはJA名・市町名）。

◆良質米共励会【農家の部「コシヒカリ・あきたこまち」部門】▽優秀賞＝渡部幸重（松山市）、谷口勝彦（ひがしうわ）、▽優良賞＝清水さゆり（松山市）、井上裕也（ひがしうわ）【農家の部「ヒノヒカリ・にこまる」部門】▽優秀賞＝大西薫一（松山市）、三好定吏（えひめ中央）、▽優良賞＝大澤正司（周桑）、玉井勝敏（同）、森川輝久（同）

◆麦作共励会【農家の部】▽優秀賞＝佐伯嘉友（周桑）、梶原雅嗣（ひがしうわ）【集団の部】▽優秀賞＝農事組合法人粟井米麦センター組合（山崎陽誠代表・えひめ中央）、農事組合法人加茂ファーム（三好伸吉代表・ひがしうわ）

◆大豆共励会【集団の部】▽最優秀賞＝農事組合法人田苗真土（松浦順一代表・ひがしうわ）▽優秀賞＝有限会社エイ・コム・エス（高橋正代表・周桑）

◆愛媛県農産園芸功労知事表彰（水田農業部門）＝赤星文人（松前町）、岡本保（西予市）、安波延（宇和島市）、うま農業協同組合米麦部会（四国中央市）



県知事賞を受賞した今井さん

## ●多収穫米検討会

### 業務用多収穫米、本格栽培に向け検討会開く

JA全農えひめ食糧生産課は平成29年度の多収穫米実証試験の検討会を2月26日JA愛媛別館で開催しました。JAの担当者と愛媛県、農林水産研究所など約20人が参加しました。

全国的に中食や外食が増えている現状のなか、不足している業務用米需要に対応するため、平成28年度より県内のJAで実証試験を行い、平成29年度は9JA、13haで多収穫米5品種の検証を実施しました。その結果、収量性、食味において総合的に「あきだわら」が優れているという結果になり、次年度以降も実需者のニーズに応えるべく、本格的に栽培面積を拡大することになりました。また、農林水産研究所、JA全農えひめ肥料農薬課より、多収性の特性を生かすためには土づくりが重要であるとの見解が示され、次年度に向けて新たな肥料試験も

計画しており、JAに協力をお願いしました。

会議終了後には試食会も開催され、主食用米と業務用多収穫米では食味においてほとんど大差がなく、中食、外食向けに十分通用することを実感していました。



検討会の様子

## ●出向く女性営農職員研修会

# 女性農業者の要望に応える企画を検討

J A全農えひめ営農支援課は、3月9日松山市のJ A愛媛で、「出向く女性営農職員研修会」を開きました。

同研修会は、女性目線での営農活動の強化とJ A女性営農職員の交流を深めようと、平成26年度から実施しており今回で4回目。女性農業者や県内2 J A・J A全農えひめの女性職員ら17人が参加しました。

研修会では、J A松山市管内の生産者、木下美穂さんと大川めぐみさんとともに「農家を支える女性としての日頃の悩みや今後の夢」というテーマでグループワークを行いました。女性農業者としての現状・課題・夢を出し合いながら、要望に応える企画やサービスの具体的内容、得られる効果・予算・スケジュールなどについて、これまで

の経験やアイデアを共有しながら検討しました。

参加者からは、「話し合った企画を具体化し実行につなげたい。J Aグループとして進めるためにはどうするかを一人一人が考え、自覚するべきだ」との声がありました。



## ●ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場

# 市民の利便性向上へ！「証明書コンビニ交付サービス」を開始

東温市では、平成30年3月2日から、マイナンバーカードを利用してコンビニエンスストアで住民票や戸籍・税証明書等を取得することができる「各種証明書のコンビニ交付サービス」を開始しました。サービスの開始にあたり、J A全農えひめが東温市で運営する農産物直売所とコンビニの一体型店舗「ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場」で、3月2日、「東温市コンビニ交付サービス開始式」を開催しました。

開会式には東温市の加藤章市長やJ A全農えひめ竹村靖副本部長をはじめ関係者など約30人が出席。サービス開始を祝してテープカットを行いました。

このサービスは宇和島市、伊予市が既に実施

していますが、税証明の交付は東温市が県内初となります。ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場は、「証明書の取得が簡単にできるようになった。地域住民の皆様の利便性向上につながってほしい」としています。



## ●(株)えひめ飲料

# 松山聖陵高校野球部にジュース贈呈

(株)えひめ飲料は3月19日、松山聖陵高等学校野球部にジュース5ケースを贈りました。

同社大阪営業所の門間伸一所長が、神戸市の同校宿舎を訪ね、同社の「ポンジュース

500ml24本入り」を5ケース届けました。

同社は、毎年、愛媛県内の春と夏の甲子園出場校にジュースを贈り、球児の活躍を応援しています。

# なんでもBOX

## ●(株)えひめ飲料 応募ハガキ1万9,020通の中から 当選者1,000人選ぶ

(株)えひめ飲料は、1月29日、松山市安城寺町の本社で、オリジナル保冷バッグと愛媛の柑橘ジュースセットが当たる「のんで!あつめて!POMオリジナル保冷バッグ&愛媛の柑橘ジュースセットプレゼント」キャンペーン抽選会を行い、高原茂社長らが、1万9,020通の応募ハガキの中から当選者1,000人を選びました。

同キャンペーンは、昨年10月上旬から12月末まで実施しました。全国から応募があり、期間中のキャンペーン対象商品(「ポンジュース」1,000ml)の販売数量は前年比104%と伸長しました。

同社では「こうした取り組みを通じて日頃のご愛顧に感謝し、2019年に50周年を迎えるポンジュースをはじめ、POMブランドのファン拡大につなげたい」としています。



▲高原茂社長(左から3番目)らが当選者選ぶ

## ●第31回ひめライス杯南海放送レディス卓球大会 スポーツを通じて「ひめライス」をPR!

「第31回ひめライス杯南海放送レディス卓球大会」が、2月18日松山市の愛媛県総合運動公園体育館で開かれ、215組・430人がエントリーして熱戦を繰り広げました。

同大会は卓球女子ダブルスの大会では県内最大規模を誇り、今回は16歳から93歳までの選手が出場し、レベル別に5クラスに分かれ、日頃の練習成果を競いました。

(株)ひめライスは、スポーツを通じて愛媛のお米「ひめライス」をPRしようと同大会を応援。参加賞として無洗米「あらうまい!」愛媛県産コシヒカリ1キログラムを提供したほか、副賞として、各クラス優勝の選手に「あらうまい!愛媛県産コシヒカリ」各10キログラム、3位以内の選手に「あらうまい!」各5キログラムを贈りました。



▲最もレベルの高いAクラス優勝の片上知代(右)・山地理沙ペア

## ●第56回愛媛マラソン 媛ポークランナーズとJA全農えひめ チームが走る広告塔として力走

「第56回愛媛マラソン(湯ったりオレンジロード)」が、2月4日開催され、「ふれ愛・媛ポーク」生産者、JA全農えひめ職員や関係者など計24人が出場しました。

「媛ポークランナーズ」は、生産者と関係者など16人が『ふれ愛・媛ポーク』のロゴマーク入りユニフォームで出場。「JA全農えひめチーム」も8人がJA全農えひめのロゴの入った揃いのユニフォームで出場。それぞれ走る広告塔として、沿道の方々にブランドやJA全農えひめをアピールしました。



▲媛ポークランナーズ

## ●ひめライス無洗米キャンペーン抽選会 6,130通の応募の中から当選者600人選ぶ

(株)ひめライスは、3月5日、松前町の本社で、IHジャー炊飯器や伊予牛「絹の味」焼き肉セットなどが当たる「無洗米あらうまい!」キャンペーンの抽選会を行い、松田一人社長らが、6,130通の応募の中から当選者600人を選びました。

同キャンペーンは、12月18日から2月28日まで実施。期間中はテレビCMやリーフレットを通じて、無洗米「あらうまい!」の利便性と安心・安全をアピールしたほか、量販店で無洗米・にこまるコーナーの設置(38店舗)や店頭試食販売(7店舗)等を通じてPRに取り組みました。同社は、今後も無洗米「あらうまい!」を戦略商品と位置付け、テレビCM放映等を通じてPRと販売拡大をめざします。



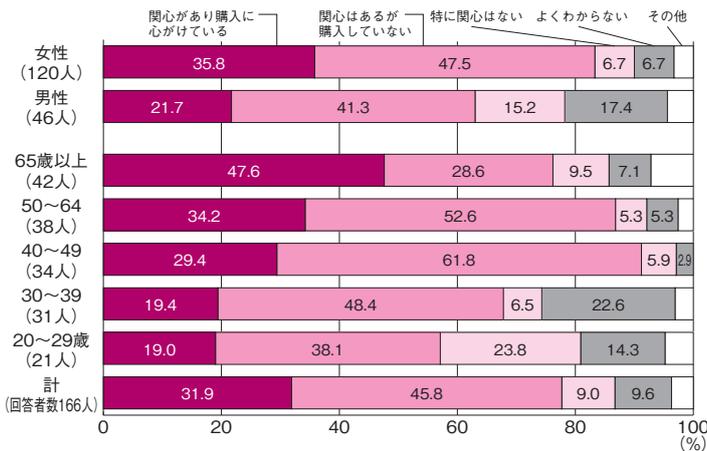
▲抽選する松田一人社長(中央)

# 統計BOX

## 消費者は今、機能性作物に注目

— 機能性を有する等特色ある農産物・食品に関する意識・意向調査結果から —

図1 男女別・年齢別にみた農作物の機能性への関心度



アントシアニン、カロテン、リコペン、イソフラボンなどといった言葉がよく聞かれます。これは抗酸化等の作用のある機能性成分ですが、健康に対する関心の高まりを背景に、そうした成分を含んだ農産物・食品が注目されています。また、そうした状況を反映して、試験研究機関で機能性作物の品種改良や高機能化の作型が研究され、数多くの農作物が紹介されています。中国四国農政局では、中国四国地域にお住まいの農林水産情報交流ネットワーク事業のモニター416人を対象に、こうした農産物・食品についての意識・意向調査を行いました。今回はその中から消費者モニターの意識・意向をご紹介します。

図2 「機能性作物」の購入のきっかけ(複数回答)

(「機能性作物」の購入に心がけている者=53名(100%))

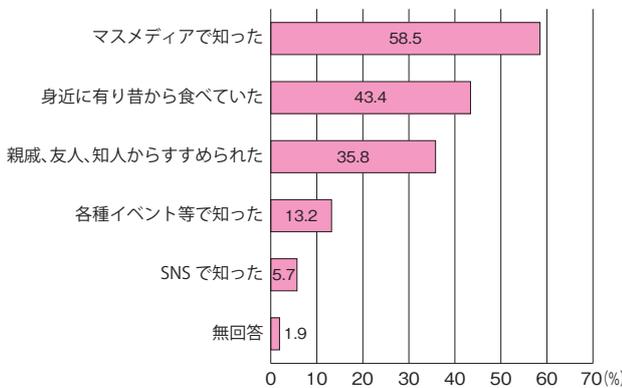


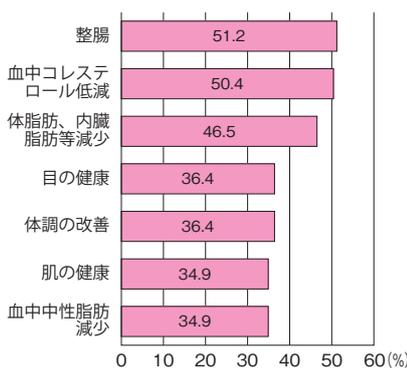
図1は、消費者が「健康への効果など農作物の機能性」に関心があるかどうかを聞いた結果です。全体では77.7%の方が関心ありと答え、そのうち31.9%の方が機能性作物の購入に心がけていると示しています。また男女別では女性が、年齢別では40~49、50~64歳において、それぞれ8割を超える方が関心を示しています。

図2は購入のきっかけです。新聞、テレビ、ラジオ等のマスメディアで知ったが58.5%、身近に有り昔から食べていたが43.4%、親戚、友人、知人からすすめられたが35.8%となっており、やはりマスメディアによるPR効果は高いといえます。

機能性を有する農産物への関心度は高い

図3 「機能性作物」の主な着目点(複数回答、上位7項目)

(「機能性作物」に関心がある者=129名(100%))



中国四国農政局愛媛支局 統計チーム

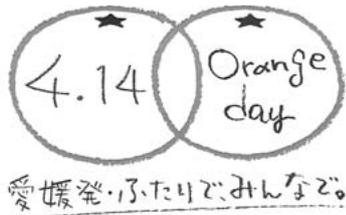
図3は、機能性作物の機能の中で着目する点について聞いたものです。調査では27項目の中から選択してもらいましたが、そのうち整腸が51.2%、血中コレステロール低減が50.4%、体脂肪などの減少が46.5%と、それぞれ5割近くの方が着目しています。

中国四国農政局では、各県等の参画の下、農政局に「機能性等に着目した地域振興作物の生産拡大に関するプロジェクト」を設置し、先駆的な取組事例等に基づき、「機能性等に着目した地域振興作物の導入戦略」を取りまとめました。詳細は中国四国農政局HPをご参照ください。また、本調査の結果につきましては同日「統計情報」に掲載していますので、農業者、流通業者等の結果についてもご覧ください。

機能性作物の着目する機能は整腸や血中コレステロールの低減等



4月14日は  
愛媛発祥の「オレンジデー」



4月14日＝「オレンジデー」は、「愛のシンボル」であるオレンジを贈り合い、愛を育み大切な人との絆を深める記念日です。

「オレンジデー」は、平成6年に愛媛県内のかんきつ生産農家が発案したとされ、JA全農えひめが平成21年5月に日本記念日協会に登録した記念日です。

JA全農えひめは、愛媛発祥の「オレンジデー」を盛り上げて、生産量日本一を誇る愛媛産柑橘のPRと消費拡大につなげる取り組みを進めています。

◆イベント情報

「オレンジデー」当日の4月14日（土）、松山市の道後温泉本館前と松山空港1階到着ロビーで、愛媛いよかん大使らが旬の柑橘「清見タンゴール」をそれぞれ414個（1人1個）を無料配布します。

■＜4月14日サンプリングイベント＞

- 9時～ 道後温泉本館前
- 13時30分～ 松山空港1階到着ロビー

編 集 後 記

★12月号から今月号まで、「ふるさとエッセー」に登場した愛媛プロレスのキューティーエリーさん。とにかくカッコいい！最後にでてくる『人生はMUST（しなければいけない）の連続ではない。WANT（したい）の連続だ』という一言、なんだかドキッとしますよね！私も日常の中でもっと『WANT』を探して挑戦していきたいです。読者の皆様の今の『WANT』は何ですか？ぜひおハガキで教えてください♪

（有紗）

●JAえひめフレッシュフルーツ（株）の取り組みを読んで。料理に欠かせない卵が生産から流通まで一貫した管理体制のもと安全に生産されていることがよく分かりました。安心して美味しい卵を食べられることは本当にありがたいと思いました。

（八幡浜市・国安 裕子さん）

●「ふるさとエッセー」を読んで。キューティーエリーさんすごいです。地域活性のため、愛媛プロレスが取り組んでいることがよく分かりました。活躍するレスラーのネーミングも得意技も楽しいものばかり。砥部焼のチャンピオンベルトも見たい。元気をもらえること間違いなしですね！

（西予市・松根 喜恵さん）

●農の風景「愛媛の酒造めぐり」、今回で終わりと寂しい気持ちです。冬の寒い日に酒粕を沸かして生姜をすりおろして飲む温かい甘酒は格別美味しいですね。それに生酒に卵を入れて沸かして、卵酒にして飲むと、体がポカポカに温もりよく眠れます。いろいろなお酒が紹介される度に1本ずつ買ひ、熱燗で飲み比べをしていました。長い間楽しんでいます。ありがとうございました。

（西条市・高橋 千代美さん）

●「愛媛いよかん3,000個配布」のニュースを読んで。受験生にとっては非常にありがたいと思います。受験生は皆、受験という大舞台に向け一生懸命努力を続けてきたことだと思います。いよかんが最後の一押し！の縁起物として力を発揮する材料になったのではないのでしょうか。これからも続けていただきたいです。

（新居浜市・加藤 怜さん）

●ボンジュースで鏡開き！これはいいなと思いました。いろいろな式典や結婚式でよく鏡開きは行われますが、ボンジュースなら子どもたちやドライバーも全員飲めるし、愛媛柑橘の良い宣伝になるのではないのでしょうか。

（今治市・阿部 紗弓さん）

●県くり研究同志会創立50周年記念大会で受賞されたお二人、お二人ともよく知っている方々で栗山を見てみました。とっても綺麗に剪定されていて素晴らしい栗山でした。

（西予市・葉師神 喜久代さん）

今月のクイズ

JA全農えひめ果実課は、今年も愛媛いよかん大使による消費宣伝キャンペーンを実施しました。キャンペーンは毎年行っており、今回が何回目になるでしょうか。

【〇〇回】

プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を10名様にさしあげます。

応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。

締切り

平成30年5月20日（当日消印有効）

発表表

「あぐり〜ど」6〜7月号で発表します。

当選者発表

2〜3月号の答えは「(いい) 予感」でした。たくさんのお便りありがとうございました。厳正な抽選の結果、次の10人の方に図書カード1,000円分をお送りします。

- 石村てるみさん（四国中央市） 玉井 一枝さん（西条市）
- 馬越 美保さん（今治市） 井出 幸恵さん（今治市）
- 村上 瞳さん（今治市） 奥河 敏江さん（上島町）
- 山田 年浩さん（松山市） 矢野ひとみさん（伊予市）
- 矢野 吉信さん（大洲市） 久保 文子さん（八幡浜市）



今月の素材

乾しいたけ



うまみ、香り、栄養、機能性成分、  
ぎゅぎゅっと詰まった健康食材

▶ (右) 乾しいたけのスープ餃子、(左) 乾しいたけと桜エビの佃煮  
(左) 乾しいたけの和風ライスコロッケ



指導/学校法人愛媛学園 (愛媛調理製菓専門学校) 大佐古 正子先生

乾しいたけの和風ライスコロッケ

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約302kcal

乾しいたけ (大)	8枚
しょうゆ	大さじ2
白ご飯	300g
でんぶ	大さじ2
④ カツオ節	約2g
しょうゆ	小さじ1
小麦粉	1/2カップ
卵	1個
パン粉	1カップ
揚げ油	適量

〈作り方〉

- ① 戻した乾しいたけと戻し汁400ccを鍋に入れ、しょうゆを加えて水分がなくなるまで煮る。
- ② ボウルに白ご飯、でんぶを入れて混ぜる。
- ③ ④を混ぜる。
- ④ ②を8等分し、③を芯にして丸め、①に詰めて丸める。
- ⑤ 形を整えた④を、小麦粉、とき卵、パン粉の順につけ、180℃の油で揚げる。

乾しいたけと桜エビの佃煮

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約64kcal

乾しいたけ (小)	8枚 (30g)
昆布 (乾)	10g
桜エビ (乾)	5g
酒	50cc
④ 砂糖	大さじ3
酢	大さじ1
しょうゆ (あれば、刺身しょうゆ)	大さじ2

〈作り方〉

- ① 乾しいたけ、昆布はそれぞれ400ccの水につけ、戻す (半日～1日置く)。
- ② しいたけは薄切り、昆布は千切りにする。
- ③ 鍋に②と、①の戻し汁、④を加えて柔らかくなるまで煮る。
- ④ 汁気が少なくなれば、しょうゆを加え、更に煮詰め、乾煎りした桜エビを混ぜる。

乾しいたけのスープ餃子

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約209kcal

乾しいたけ (中)	4枚 (約28g)
豚ひき肉	100g
白菜	100g
白ネギ	1/4本
生姜 (すりおろし)	小さじ1
酒	大さじ1
しょうゆ	大さじ1/2
④ 塩・コショウ	少々
ゴマ油	大さじ1
片栗粉	大さじ1
餃子の皮	20枚
中華スープ	800cc
しょうゆ	大さじ1
三つ葉	1/2束
ラー油	適量

〈作り方〉

- ① 乾しいたけは水で戻し、みじん切りにする。
- ② 白菜はみじん切りにして、塩もみをして、水気を切る。白ネギはみじん切りにする。
- ③ ボウルに豚ひき肉と④を入れてよく混ぜ、①、②と合わせる。
- ④ 餃子の皮で③を包む。
- ⑤ 鍋に中華スープを沸かし、④を入れ、火が通ればしょうゆを加えて味を調べ、3cmの長さに切った三つ葉を入れる。  
※好みでラー油を入れる。

**POM**

つぶつぶ  
愛媛みかん

350ml

果粒入り 果汁20%




濃厚で贅沢なおいしさ



株式会社 **えひめ飲料**

〒791-8603 松山市安城寺町478番地

TEL: 089-923-1500 FAX: 089-924-0304

<http://www.ehime-inryo.co.jp>

(通販専用) <http://www.pom-j.com>



えひめの  
愛しい時間

全国発送  
承ります



えひめ100  
みかんいよかん混合

1,000ml×8本／ケース

愛媛産の温州みかんといよかんを主体にブレンドした濃い果実感が楽しめる果汁100%ジュースです。



えひめ100つぶ  
みかんいよかん混合

1,000ml×8本／ケース

愛媛産の温州みかんといよかんを主体とした果汁にみかんの果粒(つぶつぶ)を加えた果実分100%の粒入りジュースです。



愛媛の味わい  
柑橘100

1,000ml×6本／ケース

愛媛産のポンカンといよかんを主体に愛媛の柑橘をブレンドした深みのある爽やかな味わいの果汁100%ジュースです。



えひめの柑橘と  
国産にんじん

1,000ml×8本／ケース

愛媛産の柑橘と国産人参の甘さが生きた果実・野菜のミックスジュースです。



愛媛の清見

1,000ml×8本／ケース

愛媛産の清見を使用した、甘味と酸味のバランスが絶妙な果汁30%飲料です。

※宅配運賃について ●同一受注同一送付場所で5ケース以上の場合配送運賃は無料です。●5ケース未満の場合は、ケース毎に500円(税込)加算します。

愛用運動期間 4月1日～8月31日

主催団体／JAグループ愛媛農畜産物消費拡大運動推進本部・県内各JA・JA愛媛中央会・JA全農えひめ  
協賛団体／JAえひめ女性組織協議会・愛媛県農協青年連盟・愛媛県果樹同志会・愛媛県果実生産出荷安定協議会・  
愛媛県茶業振興協議会・JA愛媛県信連・JA共済連愛媛・JA愛媛厚生連・愛媛県酪連・JA愛媛施設連



環境に配慮した植物油インキを使用しています。

この冊子は再生紙を使用しています。